



学習授業支援企画展「なつかしの道具たち」開催中

海事記念館では、普段収蔵庫で保管されている、昔使用されていた生活道具を展示しています。見るだけでなく、実際に触れることもできますので、ぜひお越しください。

- 展示期間 / 2月25日(日)まで
- 場所 / 海事記念館1階ホール

プラネタリウム夜間投影のお知らせ

毎月、平日の夜にプラネタリウムの夜間投影を行っています。

- 日時 / 2月16日(金)19時から19時30分

● 番組名 / 低学年・幼児向け番組『お星さまが消える?』

● 内容 / 前半は、代表的な冬の星座をオリオン座の神話を交えて紹介。後半は、星の明るさ・色の違いと星の一生についてお話しします。

● 申し込み / 不要

※中学生以下の人は保護者の同伴が必要です

報告 アッケシソウに関する活動

厚岸町の名前がついている貴重な植物である『アッケシソウ』を広くPRするため、郷土館前とチカラコタン地区での人工栽培と、厚岸湖岸に自生しているアッケシソウの定期的な調査を行っています。チカラコタン地区の栽培地は、令和4年から栽培を開始し、今年で2年目を迎えました。

土壌や高さの条件を変えた4面の栽培地は、種まきや雑草の駆除などを行い、土地の維持管理を行っています。今年は、アッケシソウの株数や生育状況にばらつきが見られたものの、昨年とは比較にならない程、株数が増加しました。

今後も、栽培や調査などを継続して行っていきますので、厚岸町のアッケシソウに興味・関心を持っていただければと思います。

～厚岸町の『アッケシソウ』を守るために～

本州で唯一アッケシソウの自生地がある岡山県浅口市では、市民が『アッケシソウを守る会』を発足させ、スポーツ少年団や高校生、企業なども参加し、自生地の雑草駆除作業を行うなどアッケシソウの保護活動を行い、市民みんながアッケシソウを大切にしています。

厚岸町でも、町民の皆さんが参加できる新たな試みが必要であると考え、今後のアッケシソウの保護活動について一人でも多くの人に考えていただく機会として、昨年10月に岡山県浅口市から講師を招き講演会を開催し、『浅口市におけるアッケシソウの取り組み』についてお話しをしていただきました。

『アッケシソウ』の名前の由来となった厚岸町でも、今後は行政と町民の皆さんが共に取り組めるアッケシソウの保護活動などを考えていきます。



▲町内で栽培しているアッケシソウ



▲アッケシソウの栽培地(チカラコタン)



▲アッケシソウの栽培地および自生地